

件名:ごみ袋について

(平成 27 年 4 月 1 日受付)

市指定のごみ袋は、年 1 回各種合わせて 100 枚以上支給されている。しかし、少人数の家庭では、ごみ袋が余ってしまう。ごみの量を減らすためにも、少人数の家庭のみならず、一律に支給の量を減らしてほしい。また、ごみ袋を質のよい日本製に変更してほしい。

(回答)

日頃より、ごみの減量及び当市環境衛生につきましては、ご理解及びご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、ご意見についての回答でございますが、現在、当市では各世帯に毎年、燃えるごみ用の袋を 110 枚、燃えないごみ用の袋を 20 枚、粗大ごみ用のシールを 10 枚配布しております。ご指摘のとおり少人数世帯や、ごみの減量に取り組まれている世帯では余ることがあると思いますが、広報で周知しておりますとおり、余った場合には、市役所にお返しいただくようお願いしております。

また、次年度分のごみ袋が不要な場合は、1 月末までに市役所へその旨ご連絡くだされば次年度分の配布を止めておりますので、どちらかの方法をご検討いただいたらと存じます。

ごみの減量は、現代社会にとって重要なテーマであり、当市においても、ごみ袋の配布枚数の変更やごみ袋の有料化、分別方法の変更等について検討中でございます。今後、市民の皆様のご意見をお聞きしながらより良い方法を検討して参りたいと考えております。

なお、ごみ袋の生産国につきましては、現在のごみ袋の性状、市の財政状況や社会情勢などを考慮し、今後の検討課題とさせていただきたいと存じます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

(担当：環境衛生課)

件名:公用車について

(平成 27 年 4 月 14 日受付)

市役所のエレベーターのところに、電気代 20%削減に協力をという貼り紙があるが、もっと大きな無駄があるのではないか。職員の外出用の四輪車を二輪車に切り換えできないものだろうか。維持費、燃料代に大差があるはず

である。

(回答)

このたびは、貴重なご意見ありがとうございます。市では、公務で外出する場合の四輪車及び二輪車を配置していますが、外出する業務内容といたしましては、施設の修繕、改修や行事(イベント)など、資機材や様々な道具、書類などを積載して現場へ向かうケースが多く、二輪車では対応しかねるケースがありますので、基本的には四輪車を使用しております。

ご指摘の通り、財政的にも厳しい折でございますので、四輪車の使用に際しても、職員一同、常に無駄な乗車のないよう心がけ、使用していきたいと考えておりますので、何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

(担当：施設管理課)

件名：歩行器について

(平成 27 年 5 月 22 日受付)

東予総合支所の玄関口にシルバーカーを置いてほしい。

(回答)

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

また、庁舎利用に際しましてご不便をおかけしております。

現在、東予総合支所庁舎玄関口には、車いすとベビーカーのみを配置しており、シルバーカーについては、本庁をはじめ他の庁舎でも配置していないのが現状となっております。

当市においても高齢者人口が増加していく中、高齢者の皆さんに少しでも快適に庁舎をご利用いただきたく、ご提言のありましたシルバーカーの設置については順次対応していきたいと考えております。

なお、シルバーカーの購入をご検討の方には、市の一部補助制度（市民福祉課担当）もございますのでぜひご活用ください。

今後も市としましては、庁舎利用に際しまして、可能な限り、皆さんの利便性の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(担当：東予総合支所総務課)

件名：唐樋ポンプ場の管理について

(平成 27 年 6 月 5 日受付)

唐樋ポンプ場の増設完了までのポンプ場の通常運転はどのようにしているのか。

大雨（ゲリラ豪雨）や台風の時、例えば、満潮時と時間当たり降雨量 20 mm～40 mm以上が重なる時間帯の場合の運転はどのようにしているのか。

(回答)

日頃より、市行政全般にわたり、ご協力を賜りありがとうございます。

○ポンプ増設工事について

唐樋雨水ポンプ場には、1 台当たり毎秒約 3.9 m³の排水能力があるスクリーパーポンプ（口径φ3,100 mm）が 3 台設置されており、海域の潮位が上昇し樋門から自然排水ができないときには、合計排水能力毎秒約 12 m³で強制的に排水しております。

排水区域内の宅地化の進行や、近年頻発する大雨（ゲリラ豪雨）による浸水被害を防止するため、平成 27 年度の「ポンプ設備、除塵機等設備の増設実施設計費」は、予算化し国庫補助事業費を確保、実施が決定いたしました。

平成 27 年度中に増設実施設計を完了し、平成 28 年度から国庫補助事業として、工事に着手するべく事業要望を行う事としております。工事内容は、機械・電気設備が中心であり、契約発注後製造、現地据付工事であることから、平成 28 年度と 29 年度の 2 箇年が必要であると考えております。

○大雨時の運転について

唐樋雨水ポンプ場は、「通常時は無人で、自動運転を行っていますが、大雨注意報が発令されると同時に維持管理職員がポンプ場に行き、ポンプの起動水位を平常時より 30 cm 低く変更し、雨が強くなる前にポンプ場前遊水地の水位を予め下げ、貯水能力を確保するための先行待機運転を行う」こととして文書化し運転、浸水の防除に努めているところです。

昨今の降雨現象は予測しがたいところもありますが、气象台が発表する注意報、警報等の情報を迅速・的確に収集し、増設が完了するまでは、現有の機器を最大限有効に使用し、浸水の防除に努めて参りたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

(担当：下水道工務課)